

一 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること。

教育学部では、地域社会における学校教育を取り巻く現状と課題を踏まえたうえで、教員養成に関する教育を通じて、学部段階で責任を持って教員として必要な資質能力を確実に身に付けさせるとともに、使命感や責任感、教育的愛情等を持って、教科指導や生徒指導等を実践できる資質能力を有した教員を育成することにより、学校教育の発展と向上に寄与する」ことを理念といたします。

また、教育学部では、教員養成の理念を踏まえたうえで、「教員に求められる幅広い視野と豊かな人間性の涵養に加えて、教科指導や生徒指導等に関する基礎的・基本的な資質能力の修得を基盤として、それを現場で活用することができる実践的な能力を備えるとともに、教員としての継続教育を見据えて、生涯にわたり資質能力の向上を図るために必要な基盤となる基本的な資質能力を有して、学校教育の向上に積極的に貢献する教員を育成する」ことを人材養成の目的といたします。

この教育学部における教員養成の理念と人材養成の目的を達成するために、次の具体的な資質や能力を備えた幼稚園教諭、小学校教諭を育成することといたします。

1. 幼児教育や初等教育に関する基礎的・基本的な知識と技術の修得を基盤として、それを現場で活用することができる実践的な能力を養います。
2. 教科指導や生徒指導等に関する基礎的・基本的な資質能力の修得とともに、これらを基盤とした実践的な指導力を養います。
3. 豊かな人間性や社会性、常識と教養、礼儀作法を備え、的確な意思疎通により対人関係を形成できる人格的資質を養います。
4. 他の教職員全員と同僚として協調・協働して責任を果たし、教育活動の活性化に貢献できる基本的な協調的資質を養います。
5. 児童生徒はもとより、教員相互、保護者や地域社会との円滑なコミュニケーションを図ることができる資質能力を養います。
6. 主体的・創造的に課題への探求に取り組み、解決するための力を高めるために、継続的に自己研鑽できる資質能力を養います。
7. 常に専門性の向上を図るとともに、不断に最新の専門的知識や指導技術等を身に付けるための基礎的な研究能力を養います。

教育学部では、大学で学ぶ理論知と現場で身につける実践知・体験知の融合をめざしています。大学で学んだことを現場に出て確かめるとともに、現場で得た気づきや体験は大学でのさらなる学修の動機付けとなります。こうして、1年次から4年次まで理論と体験を往還する学修を繰り返し、着実にステップ・アップを図っていきます。